

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念はない	今後検討し理念を作っていく
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関の見やすい位置に掲げている	職員が意識をもち、みなで取り組んでいくよう頭に入れておく必要がある
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議を定期的に関き、家族とも連絡を密にし、地域との交流を図っている	今以上地域との交流を広げていきたい
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の方の畑づくりに共鳴し、教えてもらいながら畑づくりをすることで、会話の機会を増やし挨拶もする人が増えてきている	顔なじみにはなっているが、立ち寄るまでいっていない。畑仕事の後とかにちょっとお茶でも等声をかけ入りやすくする工夫をする
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	GHの近くの畑の方との交流、小学校などの発表会への参加、祭りなど地域の行事参加をしている	地域の老人会に参加出来るような入居者を会員になってもらうことで、地元の人との交流を深めたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者のための取り組みは行えていない		地域交流を進めていく上で、今後一層地域高齢者と関わり、貢献していけるよう活動していく
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を確認し、職員で再認識をおこなう。去年度行えていなかった、事業所ない新聞の作成も取り組んでいる。また、あらたに小学校との交流など活動も広がってきている		みなで再認識の場を開き向上を図っていききたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、評価の資料等交付している。また関係者、家人等にも送付等行っている		議事録の閲覧、認識を深めていき、職員も内容の確認がしっかり行えるよう行っていく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	南区介護保険サービス連絡協議会にも参加し情報を得ている		市町村の催し等、積極的に参加したい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者にも制度を活用されているかたもおられたり、また、制度活用を考えているかたには、わかる範囲で説明も行っている。家人に後見制度セミナーの案内も参考に送ったことがある		制度の趣旨、内容、または手続きなどの知識をもっと理解し、的確に答えていけるようしていきたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が意識を持ち、身体的、精神的虐待の防止を行なっている		勉強会等を開き再認識していくともっと理解を深めていく

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書などの文書と、口答で説明を十分にしている</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に話しやすく何でも語れるような雰囲気づくりを心がけている。ISO取得し、活動が円滑に行えるよう、わかりやすいようにしている</p>	<p>意見、不満、苦情を聞き、文書にて表し運営に反映させている</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家人面会時、入居者の状態等を話し合っている。金銭については1ヶ月に1回は利用状況を報告し、領収書もお渡ししている。残金が減ったさいは連絡し、確認後補充してもらったりしている</p>	<p>月報を作成し、全職員が担当できるようしていきたい。職員の移動等の情報は今後事業所内案内にでも情報を提供していく</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>直接家族へのアンケートや、事業所にも苦情BOXを設けている。またISO取得し、システムを活用している</p>	<p>苦情BOXをもっと使いやすいよう、もっと気軽にかいていただくよう工夫をしていく</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者面接、また事業所長面接、GH統括面接を定期的または必要時行っている。ミーティングに上司等が参加したりもしている</p>	<p>常に意見を聞くようにしている</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟な対応は出来ている。家人の要望、話し合いにも時間を確保したりしている。勤務については、前月に翌月予定を作成し、人員計画を行っている、また必要時には(緊急受診等)その都度対応している</p>	<p>常に決められた人員確保を人事に依頼する</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動あるときは、入居者の小さな変化にも注意し濃厚なケアを心がけている</p>	

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>経験に応じた研修計画を組織内で行っている。また、随時ある研修にもまんべんなく参加できるよう、調整している</p>	<p>全職員平等に研修を受ける機会をもうける。研修後のレポート、資料に全スタッフが目を通し学んでいく</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>組織の他GH等と連絡を行ったり出来ている。事業所会議等報告相談の機会もある。11月には、事業所イベントもあり、他サービスとの話、顔合わせもできている</p>	<p>市町村の他老人福祉施設職員と交流を持つことでネットワーク作りや職員の刺激にもなる。他施設の記念行事、餅つき大会等参加することで、輪を広げる</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>リフレッシュ休暇を利用する。カウンセラーに相談を受けることが出来る</p>	<p>職員が相談したいときは時間をつくってもらう。有給使用し、心身のストレス軽減を図る</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員に研修の参加を促している。個々に研修を振り分けみな参加できるようにしている</p>	<p>自分の学んできたことをみなに伝えていくために報告会などを開く</p>
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談に関しては専門の相談員を配置しており連絡調整している。見学、面接等行い対応している</p>	<p>他サービス利用中の状況などが見たり、わかったり出来ると思われため検討していきたい</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族の不安なことを聞き出来るかぎりそれに沿った対応をしている、面接時には家人宅を訪問したり、直接話を聞く時間を取っている</p>	<p>管理者が代表し初期面接等行っているが、勤務等可能であれば、他職員にも参加してもらえたらよいと思う</p>

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込みを受けた後は、入居についての話をすすめている		入居に際し、緊急性があったりするケースもある。平行して特養申請され順番を待たれることもある
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	無理のない様本人の好きなようにされている姿を見守りながら安心してサービスを受けていただくよう努力している。家族とも連携をとりながらすすめている		常に安心できるようなサービスを大事にしたい
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の得意とすることを共におこない(計算、料理等)、同じことをすることで、笑ったり教えられたりすることで共に共有している		入居者の一人一人の得意分野や、コミュニケーションの時間をもっと理解し、増やしていく
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	外出時には家族を招待したり、誕生日は一緒に祝ったり、食欲や体調が安定しているときは、共に喜び、体調が悪いときは、共に心配し本人を共に支えていく関係を築いている		家族が面会に来ているときは、職員よりもっと交流をもてるようにしていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	CWが間に入り、ありのままの入居者の姿を家族に伝え、入居者には、家族の訪問日や訪問した家族が、入居者のことを思っている等常に伝えている		家人面会時日常の様子等伝えていき家人からも離しやすい関係にしていく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者との話合いの中に、馴染みの方の名前や家人の名前を織り交ぜて会話をしていくことで、途切れないよう援助している。また、個別外出等行うことも取り入れ、入居者それぞれに合わせた対応している		本人の会話や知った情報を家族の方との話し合いにて実際に会ってもらったりや、場所へ行くことを考えていく
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う入居者同士には、一緒に外出を誘ったり、近くで食事をしたりしている。出来るだけ皆、同じ場所・時間に食事を取ったりしている		各職員で情報交換が必要である

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	2Fに関して開所後退去等まだない		出来る限り関係継続していけるよう話し掛けていく
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いがわからない時は、本人に聞いて決めてもらうよう努めている		カンファレンスに利用者本人を同席してもらうよう図っていく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	それぞれの嗜好や、読書、新聞が好きな方、おしゃれの好きな方、畑仕事をして来て入浴は女性が一番後という考え方など、それぞれの暮らし方を把握している		馴染みの生活歴で昔を思い出し楽しみが持てるよう支援していきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員同士で申し送りを活用している。また、職員、入居者とのコミュニケーションを通じて把握している		心身状態など変化があれば、その都度カンファレンスをしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	24時間シートを職員に配り問題やアイデアを皆で考えている。また、必要に応じて家族からのケアのヒントや要望を聞いている		出来る限り本人、家族が同席をすれば皆が納得できるプランができる
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族との話し合いの場を設け、現状の説明等を行なっている。また、退院時などは、計画をすぐに作り、対応している		随時計画の妥当性を確認し、本人に合っているかを検討していきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、申し送りノートを活用し共有している。また、家族からの本人の言っている内容は、どのように昔からつながっているのかを聞きケアに役立っている		記録の書き方など個々に少し違うことがある。書き方の統一をしてもよいのかもしれない。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	関係施設がたくさんあるため、協力しあっている。丸太HP、居宅桃山等。		洛和外の施設とも有効な関係が築けるよう取り組んでいければよいと思うので、今後考えていく
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティアで大正琴の演奏に来てもらったり、消防の方に来てもらったり、協力しながら支援している		もっといろいろなボランティアに来てもらえるよう募って行きたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	GH入居で保険は上限のため、他サービスの利用は行っていない		入居者負担になるが、希望があり、主治医が認められた場合、訪問マッサージを受けておられる方もいる。ベット等のレンタルも介護保険使えないため、民間のサービスを入居者負担で使われることもある
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの職員とは、運営推進会議を通じ関係をもっている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診のかかりつけ医の診察の他、歯科医や精神科医ともよき関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している		

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>職員全員が専門のHPへいけるよう皆でどのような場所か、どのような診察をしているのか把握できればよいと思う</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>普段より気軽に相談できるよう関係を深めていく</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>職員全員が共有できるよう会議等にて発表していきたい</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>さらに知識を深め実践に備えていきたい</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>そのようなケースは今のところない</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	優しい声かけを心がけている。個人情報漏れないように、事務所に保管している。組織内でもプライバシーの研修を行ったり、事業所内に掲示もしている	一人一人の生活歴を職員が知り、プライバシーを損ねないよう声かけしていく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人への声かけを何をするときにも行なっている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り本人の都合を尊重し行動する。普段からのコミュニケーションにて本人のことをよく知ることを心がけている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的にビューティーヘルパーに来てもらっている。本人のしたい髪型や意思を尊重してその人らしいオシャレが出来るよう支援している	望みの店でも毛染めや、カットをしている入居者もおられる
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事づくりや、配膳、準備も共に行なっている。入居者が台所に来たときや、手伝われるときは、その方のペースに合わせている	好みを聞くこともあり、はっきりしないことが多い。職員側より、色々と問いかけていくこともしていきたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物においては、コーヒーが好きな人、紅茶が好きな人に合わせ日常的に支援している	

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別ケアプランを作成し、本人にあった状態でのケアを提供している。必要なかたにおいては、チェック表を活用したりし、状態把握に努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を希望する入居者には、断ることなく入っていただいている		朝一番に入る方がいる。その方に合わせて湯をためている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	起床時刻の早い人、遅い人無理なく安眠や休息をとってもらうよう、声かけをしている。食事すぐに長く居眠っている人等には、居室にて入床促している		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方の生活歴を把握し、その方に合ったこと、楽しむことをしたり、話をしたりしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その時の状況や「おやつを買いに行きたい」と希望があれば、職員と一緒に買い物にいっている		もっとどんどん自由に買い物にいけるような環境づくりを作っていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出を希望する入居者には、出来る限り本人の思い通りの方法で目的の場所までいけるよう、支援している		よく出かける入居者が偏っている。皆にまんべんなく出かけられるよう工夫していく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	昔馴染みの場所、皆でいけない場所等は、個別外出の計画を立て、外出する機会を設けている。家人との外出は自由で、外泊されることもある		個別の外出支援は、普段日常にもう少し取り入れていけるのがよいので、職員や状況をみて行けるようにしていく

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を使用している入居者もいる。しかし、事務所の中なので、かけづらい点もあるように思われる		CWより促していくようにする。本人からはあまり気をつけているのか要望をもっといいやすく雰囲気作りをしていく
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会等24時間対応している。GHに泊まっていたいただいた家人もおられる		知人が訪問に来られたとき、本人も面識があったようなので話してもらったが、キーパーソンより、「誰でも会わずのは止めて下さい」と言われた。入居者により、馴染みの人でも訪問してもらえない事情もあるようなので、今後注意していきたい
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない、マニュアルもあり、ミーティングにて話し合いも行っている		常に行わないようにする
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜間にだけしている。自由に出入りできるよう支援している		鍵はしないが安全のため玄関にベルをつけ入居者の外出の出入りをしたときは、見守りを行っている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全確認の為、職員は入居者全体を見れるようにイスに座る工夫をしている。また、プライバシーに関してカーテン・のれんをするなどの工夫をしている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者のADL等にあわせ、随時リビング環境等の見直しを行っている		車椅子対応のかたが増え、リビングにおいていたスクリーンを片付けたり、転倒防止のため、座席固定を試みたり行っている
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者の把握のために職員同士確認のため声かけを行っている		フロアーは1人常にいる状態で見守りを強化していきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアル等は作っているが、訓練を行っていない。実際のケースをもとに緊急受診等確認しあっている		ケースに遭遇しない職員には申し送り等にて連絡、報告等おこない対応していけるようにしていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に非難訓練を行っており非難経路の確認をしている。年に1回は消防も参加し、指導等行ってくれる		全職員までが、出勤ではないので、記録とうで確認していく。また、定期的に訓練を行っている
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ケアプランを交付するとき、または随時の面会時等に、入居者の近況等報告、相談していつている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間の申し送りなどで共有している。観察も行っている。		毎日まではバイタルを測定していないが、体調の変化の時などはすぐに気づき、普段との違いに気をつけていきたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルを作成して、すぐに薬に関することを見られるようにしている		薬の理解についてももう少し皆で話し合い、勉強をする機会があれば望ましい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤の調節、または、基本的食事内容、適度な運動等おこなっている。DR、NSにも相談したりしている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のケアは行えていないが、必要な方は歯科衛生士による治療を受けたり、ケアスタッフも、歯科衛生士等に指導を受け支援している		

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分が必要な方、又自分で水分が取れない方は、1日の水分量をその都度記入し、1日にどれだけとれているかをチェックし、確認している		自分で水分が取れる方には居室にやかんを置くなどの工夫、取れない方には、職員同士気をつけて声かけなどをし、水分確保につなげる
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防のマニュアルもあり、また研修等にも参加し勉強している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日ハイター消毒を行ったり、タオルペーパーを随所に配置し利用してもらいやすいようにしている		賞味期限のチェックや食品の保存の仕方など皆で情報を共有しあう
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関にわかりやすい看板がある。また、建物周りも、植木を植えたりしている		夏場植木が枯れたりすることがあるので、入居者と共に水やりとう協力して管理していく
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2Fからは眺めがよく電車やバスなども見られる。また、季節感も感じれるように畑なども共に行っている		リビング、台所などすぐ汚れるところをもう少し、掃除していきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの随所に腰を休めえられるスペースを作ったりしている。また、視界から離れられるスペースもある		

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほぼすべて居室にある家具は自分の使い慣れたもの、大切なものをもってこられている		一部、不穩等で居室に家具等少ない方がおられるので、検討していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気の良い日などには、換気を行い環境を整えている		エアコン、暖房などにも今後気をつけ温度調節していく
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物自体GH用に作られたものの為、ハード面は充実している。随所に手すりがあったりする。		ターミナル受け入れとなると、浴槽が普通浴のため、困難なケースが予想される
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	リビングに大きなカレンダーを設置しその日の季節等わかるよう心がけている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダでの洗濯物干しを気軽に行えるようにしている		ベランダは狭く楽しむことはできないが、気分転換に外を眺めたりしている

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム久世(2階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今年度より、近隣小学校との交流が出来た。生活発表会に参加させてもらえました。今後、運動会などその他の行事にも声をかけていただけるよう交流を深めていきたい。